

祖父江久好社長は、木造軸組プレカット工場や2×4コンポーネント工場のインフラを生かした中大規模建築の普及に力を入れている。同社のCADは構造計算から構造計算・積算・加工まで自社のシステムで一貫処理できるのが特徴で、その都度再入力する必要がなく流で作成したデータがプレカットまで受け継がれる。特に規模が大きく、構造も複雑な中大規模建築のプレカットに有効なところ、ゼネコンや設計事務所に設計段階から使ってもらうように働き掛けている。

同社のCADは大幅面集成材やCLTを使った物件を含む中大型建築向けの「XF15」と住宅向けの「Xstar」、2×4工法向けの「XF24」から本格的に規格が大きくなり、構成部品に応じてデータを切り替えることが可能で、BIMにも連動する。XF15は、住宅の座標軸に捕らわれない自由な構造

材積200m³以上の物件受注強化

フンデガー7台体制、BIMにも対応

ランバー宮崎協同組合

(宮崎市・川上宰代表理事)は、非住宅向けの特殊加工で突出した競争力を持つ。それぞれに特徴の異なるフンデガの特殊加工機6台で、特大の大断面集成材から複雑な木組みの構造材、羽柄材まで難易度の高い加工をこなせるのが強み。加工能力の拡大に向けて、2025年12月に加工機1台を増設したのに続き、26年2月までに1台を更新する。これにより、フンデガによる加工量(材積ベース)を従来の年間7000立方㍍から1万1000立方㍍以上へ増やすことを目指す。

同組合は、1ラインで4

ライン分の加工ユニット

(上下側面加工4台、木口

十スリット加工3台)を備えた横架材加工機1台引

り、これを超える物件の受

立方が程度あり、できる限

り、これを超える物件の受

<p